

3 資金収支及び資金運用状況について

平成14年度における出納長所属各会計の収支実績及び資金運用の状況は、表5のとおり、収支実績は、収入総額9兆7,919億余円に対し、支出総額は9兆5,986億余円で、差引き、1,933億余円（一般会計348億余円、特別会計1,584億余円）の収入超過となっている。

資金収支状況について見ると、例年どおり、4月と5月は、都税収入が少ない一方で、制度融資等の貸付け及び各種義務的経費の支出が集中し、大幅な支出超過となった。このため前年度の一般会計等及び基金からの繰替運用によりこれを補てんしている。

6月には法人二税、7月には、固定資産税・都市計画税の第1期分及び地方消費税清算会計への払込収入があり、資金が大幅に増加した。8月は利子割交付金等などの税連動経費を区市町村へ交付したことにより、単月では大幅な支出超過となったが、4月からの累計収支は収入超過となった。

9月は、共済費などの大口支出があり、単月では支出超過となったが、累計収支では収入超過となった。

10月から12月にかけては、法人二税及び固定資産税・都市計画税の第2期分及び第3期分の一部の収入があるものの、工事代金の支払い、私学助成及び期末手当等支出額が増加した結果、単月では支出超過となった月があったが、累計では収入超過となった。

1月から3月にかけては、制度融資や地方消費税交付金等の税連動経費や年度末を控えて支出が大幅に増加するが、法人二税、固定資産税・都市計画税の第4期分、国庫支出金、制度融資等の返還収入があり、収支はさらに改善した。

以上のとおり、年度当初は、厳しい資金状況にあったが、以降は、法人二税の伸び悩みがあったものの、形式収支は収入超過となっている。

次に、資金は、短期の大口定期預金及び普通預金により運用されている。利子収入について見ると、年度推移は表6のとおりであり、当年度分は、1億3百万円で、前年度と比べて2億7百万円の減となっている。これは主に、歳計現金の運用残高が減少したこと、平成13年3月に金融緩和措置が講じられた以降、預金利率が大幅に低下したことによるものである。

また、資金不足に対応する繰替運用（一時繰替借）に伴う支払利子は、93万余円であり、前年度と比べて、26万余円の増となっている。これは、借入利率が下がったものの法人二税が伸び悩んだことにより平均借入残高が増加したことによるものである。

都は、基金も含め多額の資金（平成14年度平均残高1兆9,151億円）を運用していることから、ペイオフ対策のため、平成14年8月に公金管理委員会の検討を経て、中期的な資金見通しのもとに、具体的な資金配分基準を「東京都におけるポートフォリオ」としてまとめ、あわせて「平成14年度資金管理計画」を策定しており、概ね計画に沿った運用を行っている。

しかし、金融情勢は依然として不透明で厳しい状況が続くと予測されることから、今後も、金融情報の収集分析に努め、安全かつ効率的な資金運用が望まれる。

平成14年度出納長所属各会計

(表5)

区 分	平成14年 4月	5	6	7	8	9	10
収 入	419,079	544,273	1,327,183	962,559	437,660	761,094	535,808
一 般 会 計	144,248	228,579	1,124,241	633,237	204,776	463,925	370,574
特 別 会 計	274,831	315,694	202,942	329,322	232,884	297,169	165,234
支 出	520,430	824,626	664,911	493,670	764,931	872,464	449,102
一 般 会 計	392,572	398,890	452,083	403,334	365,767	499,076	305,343
特 別 会 計	127,858	425,736	212,828	90,337	399,164	373,388	143,760
収 支 差 引	101,350	280,353	662,271	468,889	327,271	111,370	86,706
累計収支差引 (A)	101,350	381,703	280,568	749,457	422,186	310,815	397,521
一時借入金残高 (B)	0	0	0	0	0	0	0
一時繰替借残高 (C)	230,000	410,000	70,000	0	0	0	73,000
一時繰替貸残高 (D)	0	0	0	0	0	0	0
翌年度繰越額 (E)	0	0	0	0	0	0	0
当年度資金残高 (F=A+B+C-D-E)	128,650	28,297	350,568	749,457	422,186	310,815	470,521
前年度・翌年度 資金残高 (G)	(平成13年度分)						
	355,748	52,811	0	0	0	0	0
資 金 残 高 (F+G)	484,397	81,108	350,568	749,457	422,186	310,815	470,521

(注) 各会計の計数は端数四捨五入のため、他のページの該当する数値と一致しないことがある。

収支実績及び資金運用状況

(単位：百万円)

1 1	1 2	平成15年 1 月	2	3	4	5	計
449,840	841,423	578,873	562,689	1,627,021	218,247	526,236	9,791,984
186,883	604,661	348,672	155,507	1,040,329	184,147	156,559	5,846,337
262,958	236,762	230,201	407,182	586,693	34,100	369,677	3,945,647
526,421	868,548	473,671	726,296	1,321,758	291,082	800,773	9,598,683
322,355	608,419	282,848	333,164	741,567	273,865	432,232	5,811,515
204,066	260,129	190,823	393,132	580,191	17,217	368,541	3,787,169
76,581	27,126	105,203	163,607	305,263	72,835	274,537	193,301
320,940	293,814	399,017	235,410	540,673	467,838	193,301	—
0	0	0	0	0	0	0	—
0	60,000	0	0	46,000	0	0	—
0	3,500	0	0	0	349,000	0	—
0	0	0	0	0	0	193,301	—
320,940	350,314	399,017	235,410	586,673	118,838	0	—
0	0	0	0	0	(平成15年度分) 79,959	—	—
320,940	350,314	399,017	235,410	586,673	198,797	—	—

利子収入及び支払利子推移表

(表6)

(単位：百万円)

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
利 子 収 入	873	94	1,242	310	103
一 般 会 計	803	75	1,224	298	99
特 別 会 計	69	19	18	11	3
一時借入金等支払利子 (一般会計)	398	378	98	1	1

(注) 1 各会計の計数は端数四捨五入のため、他のページの該当する数値と一致しないことがある。

2 一時借入金等支払利子は、基金等からの一時繰替借に係るものである。